



JAL不当解雇撤回ニュース

No543 号 2017.07.20
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

京セラ株主総会・京都賞シンポ会場前で宣伝行動

京都支援共闘会議・京都支える会

株主総会 京セラ本社前で宣伝行動

6月27日、京都市伏見区の京セラ本社ビル最上階、20階ホールにて10時から京セラ株主総会が開かれました。総会に先立ち1時間前から地域の“日本航空の不当解雇撤回をめざす京都支援共闘会議”の仲間と近畿や東京から参加したJAL不当解雇撤回争議団が、「JAL 稲盛和夫名誉顧問(京セラ創業者)は直接交渉を行え」などの横断幕や「JAL 不当解雇撤回」などのノボリ旗を掲げて京セラ百メートルビル前に並びました。そして今年は「私たちは京都市美術館の売名に同意しない」という横断幕を広げ「京都市美術館問題を考える会」のたくさんの市民の方たちも、宣伝行動を行いました。

京都支援共闘の梶川憲世話人(京都総評議長)から主催者挨拶を受け、JAL争議団は「解雇された人にお返しをしたいと言った稲盛名誉顧問が約束を果たす時は今です!」と解雇争議解決に向けて訴えました。

株主総会で質問

「きょうも会社の門前で宣伝、会社として善処するつもりはないのか？」

株主総会では、議案提案が新社長の谷本秀夫氏よりなされ、質疑に入りました。社長は、「過去に日本航空の問題が出されたが、日本航空の労使問題については別会社の問題であるのでくれぐれも発言をお断りする」と述べたおかげで、知らなかった人間まで含めて何か京セラは JAL の労使問題と関係があると気づかせてくれました。

昨年に引き続き稲盛和夫名誉会長は欠席。「元気にはしているんですが、役員でもなくなりましたので・・・」と社長。

質疑ではJAL争議団も指名されて質問。「人口宝石:クレサンベールの事業は日本で一番地価の高い銀座の一等地にあるが収益はとれているのか? すごく入りにくい店を改善すべきと思うがどうか? そして、きょうも会社の門前で宣伝活動をする人たちがいた。京セラとしてもよろしくないが会社として善処するつもりはないのか?」と二点の質問を行いました。社長からは、「個々の部門の収益状態についてはお答えできないが、クレサンベールも黒字である。社前宣伝でご迷惑をおかけしているが会社としてどうこうできない」と、回答しました。

京都総評の稲村事務局次長は、「①岡崎の京都市美術館を京セラが50年間・50億円で買い取るという問題で、市民や内外の芸術家から反対意見が出て、ひんしゅくをかい、まるで札束で人の頬っぺたをたたくように株主としては格好悪い。是正

する考えはないか。②京セラの事業:自然再生エネルギーの太陽光パネルを広めるためにも、危険な原子力発電について、教育宣伝を会社としても行う必要があると思うがどうか」という二点の質問を行いました。①についてははなずく株主も多かったのですが、谷本社長は、「①今回の件は京都市から頼まれて行ったことである。芸術家から一部反対の意見もあったが、会社の宣伝のためにも行うことに決定した。②は「原発について会社としてはコメントする立場にはありません」と回答にならない回答。



高齢の男性株主から「稲盛さんに代わる役員が出てこず、守りに終始し、この2年来成長も止まり、官僚的になっている」という批判意見が的を射たような雰囲気の中での株主総会でした。

京セラの新指導部は、「別会社のことだ」などとしらばくれずに、JAL165名の不当解雇事件の早期解決をリーダーシップをとって図り、斬新な活気ある指導体制づくりが求められているのではないのでしょうか?

京都賞シンポ会場前でも宣伝行動

7月1日~2日、京都大学と稲盛財団の合同による京都賞シンポジウムが行われ、その会場前でJAL闘争を支える京都の会主催で宣伝行動が行われ、争議団も参加しました。上記の株主総会報告とJAL争議のチラシを配布しました。稲盛氏も近くに止めていた車から社員にチラシを取りに行かせ手織り、直接読んだはずですが、講演会参加者の殆どの方が受け取り、記事を読みまた争議団のたすきを見てJAL争議に関する質問をして激励して下さる方や、「自分が何かすることはありますか?」と聞いてくる参加者もいました。

京都賞とは、稲盛氏の私財で立ち上げた稲盛財団が毎年3名の受賞者を決め各自に5000万円の賞金を手渡すもので、毎年11月に開催されます。